

令和5年度 内子高等学校 シラバス

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2 単位	学 年	1 学年
教科書	高等学校 情報 I (第一学習社)	副教材等	高等学校 情報 I 学習ノート				

1 学習の目標

健全な社会生活を送るため、情報セキュリティや情報モラルの重要性を理解するとともに、情報に関する法規や制度、個人の果たすべき役割などを考察する。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第 1 学期	第 1 章 情報社会の問題解決 第 1 節 情報の活用 第 2 節 個人の責任と情報モラル 第 3 節 情報技術の役割と影響	・情報技術が人や社会に及ぼす影響について理解する。 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を活用して問題の発見と解決ができる。	期末考查
	第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン 第 1 節 コミュニケーション手段の特徴	・コミュニケーションの目的や手段について理解する。	
第 2 学期	第 2 節 情報デザイン 第 3 節 コミュニケーションと効果的なデザイン	・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付ける。	期末考查
	第 3 章 コンピュータとプログラミング 第 1 節 コンピュータのしくみと働き 第 2 節 モデル化とシミュレーション	・コンピュータが動作する基本的なしくみを理解する。簡単なプログラムが作成できる。	
第 3 学期	第 3 節 プログラムと問題解決	・アルゴリズムについて理解して、簡単なフローチャートの作図ができる。	学年末考查
	第 4 章 情報通信ネットワークとデータの活用 第 1 節 情報通信ネットワークのしくみ 第 2 節 情報システムとデータ管理 第 3 節 データの分析と活用	・コンピュータ同士を接続することで、膨大なデータの活用ができるようになることを理解する。	

3 評価の規準

【知識・技能】

情報技術やコンピュータの基礎的なしくみを理解し、どのように活用できるかを考察して情報デザインやプログラミングについて理解できる。

【思考・判断・表現】

情報デザインの方法を用いて解決すべき問題を図形や表などに可視化できる。
簡単なアルゴリズムをフローチャートに作図することができ、さらにそのフローチャートをプログラミング言語にコーディングできる。

【主体的に学習に取り組む態度】

情報技術についての知識を、積極的に得ようとする態度が見受けられる。
ワープロや表計算のテクニックを進んで身に付けようとする態度がある。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考查、実技テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

実技を主体とする科目であるので、実習は集中して取り組んでください。また、座学の授業で理解できなかった点はそのままにせずに、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。